

工事写真の撮り方について

1. 浄化槽全体の写真	メーカー、型式、人槽等が本体に書かれている場合にはこれが見えるように写してください。
2. 浄化槽設備士が実地に監督していることを証する写真	設備士が正面を向いて標識を掲げ、設置場所や周辺状況（地面、家屋等）もわかるように写してください。 また、標識の記載事項が判読できるようにしてください。
3. 基礎工事の状況を示す写真	不等沈下防止のための基礎工事の状況を、各工程ごとに写してください。 ①堀削の状況 ②栗石地業 ③目つぶし ④型枠 ⑤配筋 ⑥底版コンクリート打設 【特殊工事】⑦支柱配筋 ⑧擁壁工事 コンクリートの厚みを計るスケールや水準器、ランマー
4. 据付工事の状況を示す写真	槽本体の外部、内部に傷が無いか、ろ材や接触材及びその押さえに変形や破損がないか確認したうえで、埋め戻し作業の状況を各工程ごとに写してください。 ①水準器で本体の水平を確認しているところ ②埋め戻しの高さをスケールで示しているところ ③水張り及び水締め作業を行っているところ ④埋め戻し作業（つき棒、ランマー等）
5. スラブ工事の状況を示す写真	埋め戻しの際のつき固めにより地盤が安定したことを確認してから、スラブ工事の状況を各工程ごとに写してください。 ①型枠 ②配筋 ③コンクリート打設 ④モルタル仕上げ（金ゴテ）
6. かさ上げの状況を示す写真	マンホール蓋の高さからバルブ等の操作が可能であるかがわかるよう、かさ上げ部にスケールをあてて写してください。
7. 設置完了の写真	
8. 配管工事の写真	すべての配管状況を写す必要はありませんが、浄化槽への流入部付近、放流部付近、建物との接合部、途中配管など、4枚～6枚程度で配管の工事状況を写してください。
9. ブロワの設置後の写真	ブロワの型式がわかるように写してください。